

かっぱの通信

2007年7月8日

Vol. 69

発行 北川かっぱの会 〒189-0022 東村山市野口町3-11-8

三島方 TEL-FAX 042-391-2365

E-mail kapa@abeam.ocn.ne.jp

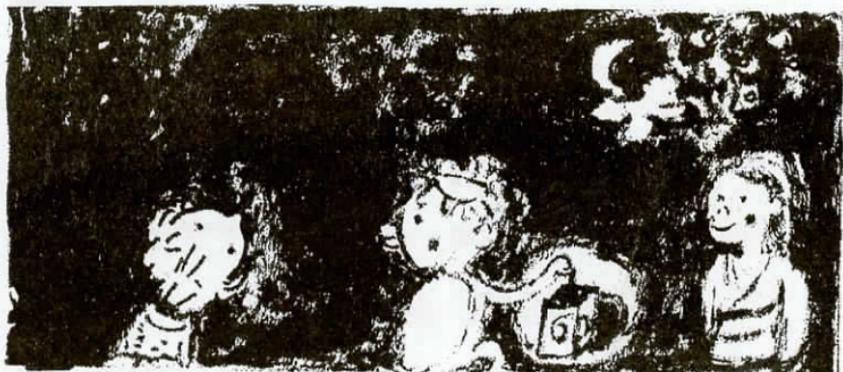
URL <http://www6.ocn.ne.jp/kapa>

かっぱの祭りは

北山公園で号

8・5北山わんぱく夏まつりで遊ぼう！！

「セブンイレブンみどりの基金」助成決定！



梅雨、昨年我が家では天水尊（貯水タンク）が満杯になると、タンクと浴槽をバケツリレーする日が何回もありました。ところが今年は空梅雨のせいで庭木の散水に使えるだけ、天水風呂は楽しめそうにありません。

この10年で雨の降り方がおかしくなっている。しとしととじっくり土にしみていく雨の日は少なく、強く激しい雨が一時に大量に降ることが多くなったと思います。しみこむ土のなくなった都会では、大雨が降るとほとんどの雨が下水に流れこみオーバーフローして道路の冠水が頻繁に起こっています。お天気の色になるこの時期こそ、雨水をためる、逃がす、植物の役割など考えるときなのだと思います。

さて、夏休みも間近、かっぱの会では「北山わんぱく夏まつり」の準備で大忙しです。カヌー遊び、ザリガニつり、八国山ミニハイク等々楽しい企画が一杯です。どうぞご家族でご参加ください。

第12回北山わんぱく夏まつりで遊ぼう



ことしの夏まつりもカヌー遊び・魚とり・ザリガニつり・八国山ハイク&昆虫とりなど色々な遊びを企画しました。ぜひ遊人などと一緒に遊びにきてください。

- 日 時 8月5日(日) 10時から16時まで
- 場 所 北山公園内親水広場
- お遊びメニュー 北川カヌー体験・北川ウォーク&魚とり・ザリガニつり・八国山ハイク&昆虫とり・縄文あそび・幼児プールなど
- ライブ 沖縄エイサー・バンド演奏ほか
- 出 店 ちぢみ・ピタパン・焼きそば・たこ焼き・かき氷・ジュース・ビール・牛乳・焼き海苔など



お手伝い募集中です

今年も様々な企画を立てて準備中です。お手伝いしてくれるかたを多数募集します。性別・年齢・経験不問、履歴書不要、面接なし即採用です。

*7月29日(日)準備スタッフ

立て看板作りなど

*8月4日(土)前日スタッフ

①テント・机・椅子の搬入 ②竹取り③立て看板設置④گرام印刷等

*8月5日(日)当日スタッフ

①カヌー遊び(川の中に入り子供の安全サポート) ②北川ウ

ォーク(子供と一緒に川の中を歩き、魚とりサポート) ③ザリガニつり(道具づくり・貸出し) ④北山ハイク(昆虫探しのサポート) ⑤縄文遊び(道具づくり・アドバイス) ⑥幼児プール(水遊び監視) ⑦出店(食べ物つくり・販売) ⑧テント設営・撤去・搬出など.....

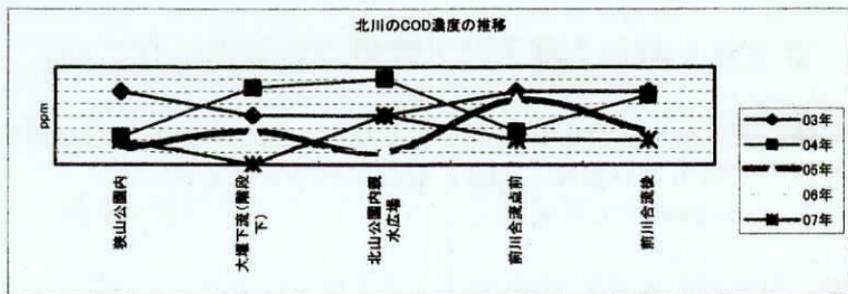
ご連絡いただければ助かります。

TEL042-395-7705 渡辺

6月3日(日)、恒例の全国一斉水質調査に参加しました。12名で北川+前川の合計10ヶ所の水質を調査しました。COD濃度をはじめ、亜硝酸やアンモニウム、pH濃度、透視度、電気伝導度などについて調べました。代表的な指標となっているCOD濃度の結果(北川)はグラフのとおりです。今年の調査結果は、調査の3日前に降った大雨の影響か、一部の地点を除き、水質のよい結果となっています(多くの調査地点で透視度の値が例年になく高い値となっています)。しかし、瞬間的に実施する水質調査よりも長期間の水質が影響すると思われる底生生物調査の結果では、狭山公園内のカワニナはともかくとして、全般

的に少し汚れた川でも見る事ができるヒルやミズムシが多く見られ、まだまだ予断は許されない状況だと思われれます。全国一斉調査は、同一条件で調査した他の地域の結果と、北川や前川の結果とを比較することもでき、身近な水環境の状態を相対的に認識することもできます(かっぱ亭に新河岸川水系の水質マップもありますのでぜひご覧ください)。全国調査の結果は「水環境マップ」として公表され、マスコミで報道されることになると思われれます。

北川かっぱの会では、今後も年に数回、水質や底生生物の調査を実施し、流域環境の改善に役立てていこうと考えています。(清水)



場所	狭山公園内	大堰下流(階段下)	北山公園親水広場	前川合流点前	前川合流点
03年	6	4	4	6	6
04年	2.3	6.3	7	2.7	5.7
05年	1.3	2.7	1	5.3	2.7
06年	1	1.7	1	2.3	4.3
07年	2	0	4	2	2

報告**富士見小総合学習「八国山探検隊」：ビデオ学習**

富士見小5年生の総合学習「八国山探検隊」に協力しました。テーマは八国山の自然・動植物です。

5月12日に学校で約2時間に渡り、児童が用意した質問に答えたり、先生のインタビューを受ける姿をビデオに撮影され(結構やりにくい)、それを先生がいろいろ編集して本番の授業に使うという形をとりました。最初に自己紹介やかっぱの会の紹介、空中写真を使って八国山は東村山の自然を代表するものであること等を説明しました。

児童の質問は「八国山にはどんな動物がいるの?」「八国山でバードウォッチングはできるの?」「スズメバチとカナブンはけんかするの?」などなど。最後に八国山の自然を守ることは大切なことという話をして終わりました。

はたして授業の役に立ったのかなと心配していましたが、後日30人程の児童からお礼の手紙を頂き、ちゃんと内容を理解していることがわかりほっとしました。(ビー永島)

報告**富士見・南台土曜子ども講座「八国山へ行こう」**

昨年度に引き続き、富士見・南台小学校の土曜子ども講座「八国山へ行こう」に講師として参画しました。

快晴に恵まれた6月23日、10人の参加者で昆虫採集&観察を行いました。新山手病院近くの草地は蝶のスポットとしてうってつけでしたが、今年はすっかり草刈りされてしまいこの日の主役の蝶も少なめでした。しかし、大ムカデの登場にみんなで大騒ぎ

するなど、楽しく虫の世界を体験することができました。

(ビー永島)

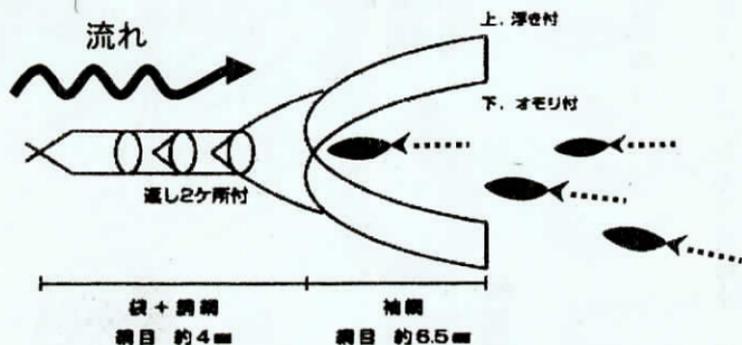


北川に整備された魚道 その後・・・

北山公園の入り口になる、北川の善行橋下の落差工に、東村山市によって平成17年度に魚道が整備されました。生き物にも配慮した河川環境整備を目指したワンステップとして歓迎されるものです。魚類研究者の君塚芳輝氏の助言を受けて整備されたこの魚道は、‘粗石付双斜面式全段面魚道’という形式で、整備時は日本で2例目というものでした。

かっぱの会では、厳しい市の財政状況の中、予算を割いて整備がなかった魚道ですので、市民へアピールするためにも整備済の魚道の効果を確認する必要があることを市に提案し、4月から魚道を遡上する魚介類の調査を行っています。

調査の方法は、魚道直上に川を横切るような形で定置網(下図)を仕掛けて、遡上してきた魚介類を確認するというもので、東京都の特別採捕の許可を受けて実施しています。



すでに4月下旬と5月上・中旬に各一昼夜の調査を行っていますが、魚類ではオイカワ、モツゴ、トウヨシノボリ、ドジョウ、タモロコの5種、魚類以外ではスジエビ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニの他、海から遡上してきたモクズガニも確認できました。

河川法が改正され、国土交通省でも生き物の生息にも配慮した河川整備と管理を推進している社会情勢のもと、今回、小型で相対的に遊泳力が小さい魚でも、整備した魚道を利用できることが確認できたことは重要なことで、北川だけをみても数ある他の落差工の魚道化が強く望まれるところでは。

(康)

第12回

北山わんぱく 夏まつり

8月5日(日)

at 北山公園
AM10時～
PM 4時
雨天中止

北川カヌー遊び ザリガニ釣り
八国山昆虫捕りハイク 魚投網
出店 北川水族館



Tom
エイサー 闘犬乙っ2
子どもプール ライブ演奏 etc

主催：第12回 北川わんぱく夏まつり実行委員会
連絡先：渡辺 TEL 042-395-7705 (夜)

後援：東村山市、東村山市教育委員会、東村山市社会福祉協議会、国土交通省
荒川下流河川事務所、自治労東村山市職員労働組合、柳瀬川流域ネットワーク、
新河岸川流域づくり連絡会、東村山みどりの楽校、北川かっぱの会

特定外来生物オオフサモ

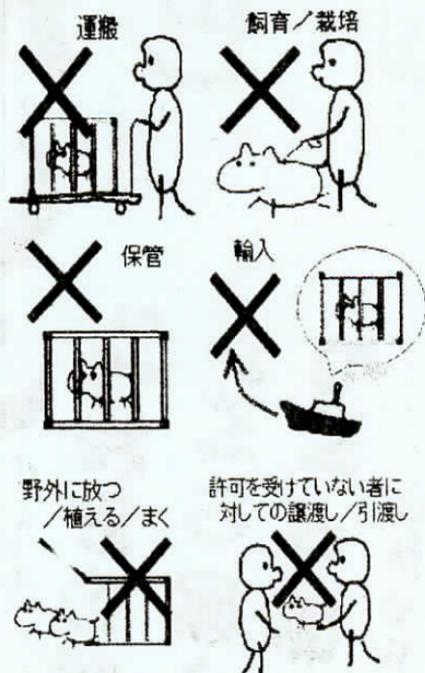
今回は、近年北川でもかなり目に付くようになった帰化植物であるオオフサモがテーマです。オオフサモは、前々号の本稿でちょっと触れましたが、環境省の外来生物法によって‘特定外来生物’に指定されています。特定外来生物は海外起源の外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されますが、生きているものに限られます。身近なものとしては、ウシガエル(食用ガエル)やオオクチバス、アレチウリなどが指定されており、以下の様な行為が禁止されています。

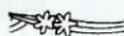
違反すると、個人の場合懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金という重い罰則があります。

さて、オオフサモの話に戻ります。オオフサモは、大正時代に観賞用として輸入された南米原産の帰化植物で、関東以西に分布しています。以前は熱帯魚店などでも販売されていました。在来のフサモの仲間(キンギョ藻)が常に水中で生育する‘沈水植物’であるのに対して、オオフサモはハスなどと同様に水

面上でどんどん生育する‘抽水植物’です。多年草で、流れた切れ端からもどんどん分布を広げて水面を占領してしまうため、積極的に駆除が行われています。明るい緑色で目立ちますので、川沿いを歩かれる際は、水際を注目してみてください。(康)

<環境省ホームページより>





青大将に触った気持ちは？

<4月>

「あっ」と驚く激変が北川で起きていました。長い年月をかけて自然に形成された砂州が無残にも破壊され、後には蛇行も淵も瀬も無く碎石が一様に敷き詰められた水路が出現していました。北川の生き物たちにとっての良好な生息環境が破壊されてしまいました。北川を小魚の沢山生息する川にしようと、行政の担当部署と市民が共に努力している時に、他の部署が全く相反することをやるなんて、まさに縦割り行政と言わざるを得ません。このような愚かな事が繰り返されないように、行政には横の連絡体制を切に望みます。

<5月>

菖蒲の時期が近づき、北川から北山公園に水を揚げるようになり水量は極端に少ないが、それでも深い所や土手沿いでは沢山の小魚を目

にすることが出来ました。今月も相変わらずゴミが多く、特にペットボトルと空き缶が沢山ありました。ゴミの総量も4年ぶりに増加に転じてしまいました。ワカフヤビンの危険なゴミも増えました。川遊びをする子供達のために安全な北川でなければなりません。

<6月>

コンクリート護岸の水際に大きなヘビがいました。青大将です。慣れた手つき(?)でさっと捕まえ皆でじっくり観察しました。頭のとっぺんから尻尾の先まで1.5m。お腹の辺りも結構太く、最初は触るのも怖がった子供達でしたが、ヘビの身体に触れ掴み方を覚え、とっても貴重な体験が出来ました。

ボランティアグループ「北川水辺倶楽部」

*毎月第2土曜日9時～10時半

*集合：北山小学校正門9時

連絡：松村 (042-393-1852)

「東村山の原風景
を守る会」のお誘い

「せせらぎの郷(ため池水路・里山・畑等)で水辺環境・緑地の維持や保護育成することで動植物を守っていきませんか。この環境で学習、観察なども一緒に行ないませんか。

作業等

種まき・収穫・下草刈
落ち葉掃き・たい肥作り・昆虫、野鳥観察
連絡 近藤邦雄

電話 39319331
年会費 2400円

*せせらぎ通信*より

5月12日(土)

子供約30人、保護者、かっぱ会員他、計約50名の参加。

今年は、昨年より1月早い開催で、好天に恵まれたものの、ヤゴが極端に少なく、また個体が小さく(約5mm)捕まえるのが大変でした。昨年5月連休の予備調査では15mm程度で容易に捕まえられるので、今年は予備調査を行わず、当日を迎えてしまい大いに反省でした。

昨年は、網ですくえば大きなヤゴがたくさんいましたが、今回はカゲロウの幼虫や赤虫ばかり、それでも合計約175匹救出しました(昨年は2362匹)。これらは、子供に持たせたり北山公園に放流しました。

ヤゴが少ないとはいっても子供は楽しくやっていたのですが、あきてきてプールで泳ぎだす子もでて、予定を早めに切り上げ、急遽北川で魚とりをしました。

プールにいた生き物は、ヤゴ(主にアキアカネと思われます)。カゲロウ。コミズムシ。ゲンゴロウ。ユスリカ(赤虫)などでした。

今年のヤゴが極端にいない原因はいったい何でしょうか。全く?の救出作戦でした。(岡田博行)

第3回：八国山虫取りハイク

7/14(土) 9:00~12:30

6月23日(土)

子供39人(兄弟姉妹他校生含む)、保護者約40人、かっぱ会員6人、講師(近藤邦雄氏)

狭山公園事務所前に集合し近藤さんからホタルの解説を聞く。

てホタルの育つ環境を知るため廻田小裏のせせらぎの小径へ移動。小川にてホタルが食べるカワニナを観察する。この湧水のあたりは木々が残り、昔とかわらない風景で、大人たちもこんなところがあつたんだという感想がしきり。

19時すぎ再び狭山公園に戻りホタルの出現を待つ。19時20分、近藤さんの予言通り、ホタルが川面を飛び始め、歓声があがる。暗くなるに従いホタルの飛ぶ数が増え、30匹ぐらい数えた子もた。近藤さん持参の虫かごのホタルも光りはじめ、目前で光るホタルも観察できた。

好天に恵まれ、ホタルも予想どおり飛んでくれ、初めて見るホタルに感激し、子供も大人も楽しく、そして北川再発見の講座になった。

なお、講師を務めて頂いた近藤さんに紙面をお借りしてお礼申し上げます。(岡田博行)

報告

セブンイレブンみどりの基金

助成決定！

北川かっぱの会の活動が、「セブンイレブンみどりの基金」の助成を受けられることになりました。北川流域の環境保全活動（子供の環境学習（夏祭り、小学校土曜講座）、川そうじ、北川流域探検、環境調査など）の内容を充実させ、また地域へのアピール度を高めることにより、参加の輪を広げていこうとする活動が採択されました。年間約30万円の助成を受けることとなります。この助成を機に、それぞれのイベントや調査の内容の充実や広報の強化を図っていきたくと考えております。会員の皆様方のご協力をお願いいたします。なお、みどりの基金の概要についてはセブンイレブンのホームページをご覧ください。（清水）



カワニナを捕る子どもたち

広告

珈琲・カレー&ビール

MARU

梅雨明けまじか！

暑中お見舞い申し上げます

MARU 2007 後半スケジュール

●弦楽四重奏の夕べ

日時；9月 or 10月

演奏者；日本フィル

チャージ；未定

●宇井眞紀子写真展

先住民族・アメリカインディアン
とアイヌ

日時；9月 or 10月

●MARUカルチャー講座

古代神道とアニミズム

「神道ってそもそも何？」

日時；10月 or 11月

講師；某神社宮司&ゲスト

※他に生オケ大会(なつかしの四畳半フォーク、往年の歌謡曲?)、アフリカン・ジャンベ、トビー岩崎のJAZZを聴くと彼から金がもらえるピククリライブ等、色々予定はありますが全て未定です。

MARU 東村山駅西口1分

TEL 042-395-4430

インフォメーション

新河岸川流域川まつりのご案内

- * 柳瀬川 7月15日(日)
志木中学校付近の土手
 - * 東川 7月21日(土)
所沢東中学校前
 - * 柳瀬川 7月28日(土)
清瀬市台田団地桜並木の下
 - * 不老川 8月26日(日)
人間市宮寺大森瓢箪池
 - * 落合川7月28日(土)29日(日)
不動橋
 - * 黒目川 8月5日(日)
 - * 黒目川 8月26日(日)
清瀬郵便局付近
- +++++

● 川端会議

日時 9月1日(土)10:00~12:00

場所 ふるさと歴史館

● 北山小土曜講座「北川の魚と生き物をのぞいてみよう」

日時 9月8日(土)9:00~12:30

【北川かつばの会 定例会】

9月15日(土)かつば亭午後2時~

● 編集後記

かつばの会の活動報告を盛りだくさん掲載しました。活動は佳境に入っています

今回は読み応えのある、充実した紙面になったと自負しています。

かつばの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。現在会員数は265名です。

● 会費 年間3000円。「かつば通信」(隔月間)

● 問い合わせ・申込み先 〒189-0022 東村山市野口町3-11-8 三島方 北川かつばの会 Tel/Fax042-391-2365

● 会費振込先

上記へ現金書留または

[郵便振替 00120-6-104476]

[あさひ銀行東村山支店(普)3605694]

加入者名 北川かつばの会

* 新入会員紹介(敬称略)

佐藤 留美 (野口町)

奥谷 浩一 (栄町)

* かつば通信は市内の公民館と図書館。東村山駅周辺の「ジェンダー」「トル」「MARU」に置いています。

* 『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。 @1000円 郵送料390円

* 『流域マップ』

八国山散策用に最適な手作りマップです。 @200円